

2023年度日本建築学会大会(近畿)構造部門振動分野 若手優秀発表賞 受賞者一覧

No.	講演番号	発表者	所属	タイトル
1	21024	山本 蛸	東京理科大学	平均的な特性を有する超高層RC造魚骨モデルの改良と大振幅のパルス性地震動に対する非線形応答
2	21043	細田 瑞生	京都大学	極限的ダブルインパルスを受ける不確定ダンパー付建築構造物の塑性率を指標としたロバスト性評価
3	21044	田中 亜海	神戸大学	低層部集中セミアクティブ制振構造のシステム同定による減衰性能評価 その2 減衰定数と応答値の比較
4	21050	鈴木 藍雅	大成建設	教師なし異常検知アルゴリズムに基づく外装材のひび割れ自動検出AIシステムの開発
5	21065	筒井 寛太	兵庫県立大学	統計的手法を用いた鋼構造建築物における多質点系モデルのパラメータ決定
6	21115	佐久間 栄己	茨城大学	自然災害に対する都市復旧シミュレーションモデルに関する検討
7	21145	阿久戸 信宏	日本大学	MC-CK型同調システムに関する基礎的研究 その7 多質点系モデルを対象としたMC-CK型ダンパーのリアルタイムオンライン応答試験
8	21176	松澤 旺大	東京理科大学	オイルダンパーを適用した超高層制震建物の時刻歴応答による基本振動特性の検証
9	21185	三好 依利紗	東京理科大学	超高層RC造制震建物におけるブレース設置構面の回転変形が付加減衰効果に与える影響評価
10	21200	真島 僚	豊橋技術科学大学	動滑車機構を用いた立体自動倉庫制振システム その1 積荷の分布と最適付加減衰量の検討
11	21215	高田 悠大	日揮グローバル	弾性すべり支承の熱力学連成挙動の評価方法に関する研究 その1 評価方法
12	21218	牧平 康也	東京工業大学	高摩擦弾性すべり支承の耐風領域における摩擦特性の検討 その2 すべり材実験結果を用いた摩擦係数の速度および面圧依存式の構築
13	21224	柳口 清香	大阪大学	免震構造用フェイルセーフ機構を有する曲げ加工された鋼板を用いた履歴型ダンパーに関する研究(FEM解析を用いた検討)
14	21239	射場 淳	北海道大学	硬化型復元力と回転慣性質量を備えた変位抑制型免震構造の振動特性 その1 理論解の導出
15	21261	小林 真帆	東京工業大学	高鉛直荷重下の水平荷重測定において摩擦力と慣性力から解放された実大動的免震実験装置の開発と実現 その13 積層ゴムの微小変形下における挙動
16	21286	新井 雄大	三井住友建設	免震鋼構造における実効変形比に基づくブレース配置の設計法
17	21288	毛塚 尚太郎	東北大学	免震構造物の変位制御における減衰力の周波数帯域制限効果 その2 分数次因果モデルによる因果的検討
18	21335	須藤 弘暉	東京工業大学	床用免震エキスパンションジョイントの衝撃力に関する実験 その4 スライド式免震Exp.Jを含む実験の結果と考察
19	21358	天野 友哉	大阪大学	熊本地震で杭基礎が破壊したRC造建物の上部構造における損傷に関する解析的分析
20	21384	森脇 美沙	鉄道総合技術研究所	2004年新潟県中越地震の震源近傍域における強震動記録および地盤震動特性の分析
21	21396	Da PAN	広島大学	Transfer Learning Model for Expanding Applicability in Estimating Site Amplification from Microtremor H/V Spectral Ratio
22	21432	山口 潤	東京理科大学	建物・地盤条件が異なる強震記録に基づく動的相互作用効果の分析
23	21445	中嶋 伸也	大林組	連続観測記録に基づく強風時の超高層鋼構造建物に作用した等価風外力の推定 その2 建築物荷重指針との比較
24	21484	門田 竜太郎	小堀鐸二研究所	遠心振動台を用いた建物と地盤の動的相互作用実験の3次元有限要素法によるシミュレーション解析 その3 パイルド・ラフト基礎